

「正しい歴史教えたい」

沖教組八重山「入試で不利」指摘も 勉強会開催

【石垣】県教職員組合八重山支部は16日、石垣市内で八重山教科書採択問題について組合員向け勉強会を開いた。現場教員からは「新しい歴史教科書をつくる会」や「教科書改善の会」の自由社、育鵬社版教科書が採択された場合、高校入試で生徒が不利になるという指摘や、教科書の誤りなどをまとめた独自の冊子を作成する提案があった。

中学校で社会科を教える
県教職員組合八重山支部の
上原邦夫執行委員長は「高
校入試は各地区で使ってい
る教科書の最大公約数で作
成されるので、7社の中
でも特異な2社の教科書を使
った場合、不利になる可能
性がある」と指摘。「例えば
大東亜戦争という言葉は他

の教科書で使っていない。子
どもたちは教科書にない言
葉を学ばないといけないし、
教員も教材研究で忙殺され
ることになる」と懸念した。
体育の男性教員は「(集
団自決の記述について)お
じい、おばあの言っている
ことと教科書に書いてある
ことが違つと生徒はどう感

じるか。『おじい、おばあ
がうそを言っている』と思
わせないためにも、正しい
歴史を教えられる教科書に
してほしい」と訴えた。

国語の女性教員は「これ
まで教科書採択に関心がな
かった。関心を持たないこ
とでじわじわとこのような
事態になってしまったと思
う」と話した。
沖教組の山本隆史中央執
行委員長は、自由社版歴史
教科書を採択した横浜市で
市民団体が教科書の誤りや
問題点を指摘した冊子を作
ったと紹介し、県内でも作
成することを提案した。

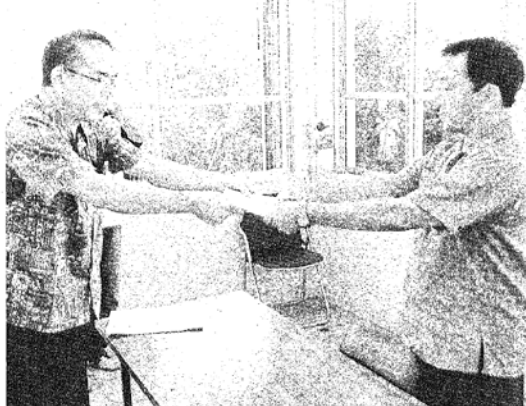
県民大会尊重求める

八重山教科書問題

採択地区協に「悔い残さないよう」
沖教組要請

【石垣】県教職員組合の山本隆司中央執行委員長らは16日、石垣市教育委員会に教科用図書八重山採択地区協議会の玉津博克会長（石垣市教育長）を訪ね、教科書検定意見撤回を求める県民大会での沖繩戦集団自決に関する県民の総意を尊重し、より正しく沖繩戦の実相を記述した教科書を採用することや、教員の意見・要望を最大限反映できる教科書採択制度に戻すことを要請した。

玉津博克会長（右）に要請書を手渡す山本隆司中央執行委員長
—16日、石垣市教育委員会



要請後に会見した山本委員長は自由社、育鵬社の歴史・公民教科書を「沖繩戦の実相を反映していない」と批判した上で、「9・29県民大会を開いたのに、両社の教科書が県内で採択されるのは全国に恥をさらすことになる。後世に悔いを残さないよう、8人の委員に賢明な判断を望む」と話した。

八重山支部の上原邦夫執行委員長は「保守系の市長に代わったことや、尖閣の領有権問題で政治的な悪感



進めた議論を16日、石垣市長の考えを視した玉津博克会長と中山義隆市長の全面的な議論を16日、琉球新報社

が教育行政に介入している。保革の対立ではなく、歴史の事実を正しく教える

全体見での判断要望

教科書で「軍命だけで議論」指摘
石垣市長

教科用図書八重山採択地区協議会（会長・玉津博克）に関する石垣市教育長をめぐり、中山義隆市長は16日、琉球新報社の取材に対し、同協議会の議論が沖繩戦の「集団自決（強制集団死）」に関する軍命や軍閥の部分に集中していることを指摘、意見を集約した上で全体的な視点から議論を進めるべきだと述べた。

中山市長は「軍命、軍閥の部分で議論しているが、戦っていかない部分だけを議論が進んでいる」として、もう少し意見がある者同士で整理した方がいいと述べた。

「軍閥の部分だけでなく教科書の内容全体を見た方がいい」ということや「質問に対しては『そうだ』と答えた。一方、集団自決に軍命や

観点で教科書を選んでほしい」と話した。
玉津会長は要請後、記者

糸満市民らが
住民監査請求
土地開発公社支出で

【糸満】糸満市民や市議員ら162人で構成される「市民有志の会」（上原秀雄代表）が16日、市瀬崎地区などの土地造成事業を扱う市土地開発公社による広告発注などをめぐり、不当な契約や予算超過などの違法な公金支出があったとして住民監査請求した。契約破棄や撤回、発生した損害金の補填などを市長や公社理事らに勧告するよう、市監査委員に求めている。却下された場合は住民訴訟も起こす方針。

15日午後8時すぎ、北谷町美浜3丁目の国道58号で、いずれも宜野湾市方面向けに進行していた北谷町に住む会社員男性19人の運

バイク衝突2人